

## 中国の食事マナーについて

国際文化学部国際文化学科 3年

17011042 千葉明里

## 1. はじめに

先日学校行事の一環である文化研修で留学生と曲阜師範大学国際文化交流学院の数名の先生と一緒に洛陽と西安を訪れた。その時、中国人と食事を共にする機会が何度もあり、その度に中国人の箸の持ち方・使い方が気になった。私の中国人の友達も箸の持ち方は、日本人の私から見れば正しくなく、同じ箸を使う文化圏であるのに箸の持ち方に違いがあることに気づいた。さらに大学内の食堂の机にはゴミや食べ残しなどが散らかっておりとても清潔であるとは言えない状態である。

今回は改めて中国の食文化や食事マナーについて調べることにした。

## 2. 中華料理について

私が中国へ来る前は、ラーメンや焼き餃子などが中華料理の代表であり、非常に辛く油の多い食事であるという印象であった。しかし、中国に来て半年以上が経ったが、日本でよく目にするラーメンや餃子はなく、日本料理店でのみラーメンなどが提供されている。青島や上海などの人口の多い都市では「日式拉面店」という文字をよく目にし、ラーメンや焼き餃子などの日本の中華料理店で食べられるものはどれも日本人用に作られた日本料理の一種であると感じた。

中国本土で食べる食事は非常に油が多く、私が生活している曲阜市の食事は中国内でも特に油が多く辛いと言われており、日本で食べる中華料理とは比べ物にならないほど油が多く、食べ終わったお皿には常に油が浮いている。

中国の料理で油が多くなった原因として考えられるのが、中国の水が料理に適していないからである<sup>1</sup>。日本では水道水を使って料理をすることができるが中国で水道水を料理に使うとなると健康面からみてあまりふさわしくない。実際に私が曲阜へ来たばかりのころは沸騰させた水道水ですら使いたくなかったため、料理をするときは必ず市販の飲料水（ミネラルウォーター）を使うようにしていた。

このように中国では水を料理に使うことが難しいため水を使わない調理方法として油を用いた炒め物などが主流となり、油が多く使用されるようになった。加えて、私は中国料理

---

<sup>1</sup> 「專家疑：用自來水到底能不能做飯？」

(<http://health.people.com.cn/n/2015/0315/c14739-26694761.html>)

を作る際の道具も影響していると考えた。最近では油がなくてもくっつかないフライパンなどが売られているが、中華料理を作る中華鍋は鉄でできており、錆びてしまうと食材がよりくっつきやすくなってしまふ。そのため、たくさんの油を使い鍋にくっつかないようにしているのではないだろうか。

### 3. 食事中のマナー

冒頭でも述べたように、中国人の多くが正しい箸の持ち方をしていないように思う。多くの中国人の箸の持ち方が日本人と異なっているのは、箸の形が影響しているのではないかと考えた。中国の箸は日本の箸と比べ長く太い形をしており、先は日本のものほどとがっていない。箸の形状の違いは、食文化の違いが影響している。中国ではおかずを大皿に盛りテーブルに並べ、各自で取って食べるのが一般的である。そのため、箸が長く設計されている。それに比べ日本場合は、一人ずつ食事が用意され自分の目の前に並べられるため箸を長く設計する必要がなく、さらに昔から魚を食べる習慣があったため、箸の先端を細くすることで魚の骨を取り除くことができる<sup>2</sup>。

日本では多くの家庭で個人が決まった箸を使用し、子どもの成長に合わせて箸の長さを変えるが、中国では家族全員が同じ箸を用い、子どもでも大人と同じ長さのものを使用する家庭が多い<sup>3</sup>。中国の子どもは小さいころから体の大きさに合っていない箸を使うため日本では言われている正しい箸の持ち方ではなく、日本人とは異なった箸の持ち方が定着してしまふのではないかと考えた。

箸に関しては持ち方以外にも使い方に日本との違いがみられる。日本では直箸は行儀の悪い行動であり、大皿料理や鍋料理など複数人で共有して食べる場合は菜箸などを用いることが一般的であり、直箸をする際には多くの場合相手の許可を得るのではないだろうか。しかし、中国では多くの店で箸の使い分けはなく、みな直箸で食べている。さらに、一度口をつけた箸でおかずなどを取り分けてくれることもある。日本人からすると、衛生的でないと感じることもあるが、中国では親しい間柄では普通に行われている。

箸の持ち方以外に、食事中のマナーに関して気付いたことには、次のようなものがある。

中国留学をする前に、中国では出された食事をあえて少し残しておくのが礼儀であると学んだ。これは食事を作ってくれた人に対して自分が満腹になるまで食べたということを表しており、残さず食べるということは食事が足りないという意味になる。しかし、近年中国でも食べ残しが多く廃棄量が多いことが問題視されており、「光盤行動」と呼ばれる「残さずに食べる」ということがマナーになりつつある。しかし、大学内の食堂やレストランで

---

<sup>2</sup> 「日本と中国と韓国の箸の違いとその理由、知っていますか？」

(<https://kaikore.blogspot.com/2017/12/different-types-of-chopstiks.html?m=1>)

<sup>3</sup> 「日中韓の箸とその文化」

([http://www.google.co.jp/amp/s/www.epochtimes.jp/2018/05/33189\\_amp.html](http://www.google.co.jp/amp/s/www.epochtimes.jp/2018/05/33189_amp.html))

出される食事の量は非常に多く食べることができないため、多くの中国人は持ち帰って後で食べることが多い。

中国の食事習慣の中で私が理解に苦しんだのは、中国人は魚の骨や肉の骨など食事の最中に出たごみをお皿の上ではなく机の上に置くことである。日本では食事をする際机を汚すことは良くないとされており、魚の骨などはお皿の上に乗せるが、中国では机の上に放置し、席を離れた後店の店員が片付けるのが一般的である。そのため、レストランなどでは机の上にゴミが残っていないこともあり各テーブルにゴミ箱が置いてあることもあるため割と清潔であるが、大学の食堂では食べ残しやごみそのままになっていることも多い。

#### 4. 会計時の習慣について

中国留学へ来る前、中国人は支払いの時に奢りたがると聞いていた。実際に年齢差がある場合や客人をもてなす場合などは奢ることが多い。さらに以前の中国では奢りあうのが良いとされており、奢ってもらった人は次回の食事の際に奢ることでお互いの面子を立てていた。しかし近年特に若者の間では、年齢が近い場合や友達同士であれば「AA制」という割り勘方式がとられることが多い。実際に初めて会った中国人の友人と食事へ行った時は多くの場合中国人の友人が支払ってくれたが、二回目以降食事へ行く際は割り勘で支払いをしている。

#### 5. おわりに

日本と中国は距離も近く似たような文化圏であるため、日本人からするとマナーが悪いとされる行動を中国人がしていることに対して嫌悪感を強く示す人も多いが、国が違えば大小関係なく文化の差は必ず存在している。実際に私が日本の飲食店でアルバイトをしていた時中国人客は食事マナーが非常に悪く不快に感じていたが、日本のマナーと中国でのマナーが異なっているだけで彼らはわざと非常識な食事方法をしているわけではなく、普通に食事を楽しんでいるだけなのである。

さらに中国でのマナーは刻々と変化しており、日本人の考えている中国での食事マナーの中にはすでにマナー違反とされているものも多くある。中国の食事マナーを勘違いした状態で現地へ行った場合、同じように中国人からも日本人は食事マナーが悪いと思われる可能性もある。現代の文化や習慣を知るためには調べるだけではなく、実際に現地へ行き自身で体験しなくてはいけないと感じた。

#### 参考文献・URL

1 「専⾨家積疑：用⾃来⽔到底能⾧不能做飯？」

URL：<http://health.people.com.cn/n/2015/0315/c14739-26694761.html>

最終閲覧日：2019年11月9日

2 「日本と中国と韓国の箸の違いとその理由、知っていますか？」

URL : <https://kaikore.blogspot.com/2017/12/different-types-of-chopstiks.html?m=1>

最終閲覧日：2019年11月9日

3 「日中韓の箸とその文化」

URL : [http://www.google.co.jp/amp/s/www.epochtimes.jp/2018/05/33189\\_amp.html](http://www.google.co.jp/amp/s/www.epochtimes.jp/2018/05/33189_amp.html)

最終閲覧日：2019年11月9日